



22

身体/生命/家族
オツベルと象

みやざわ けんじ
宮沢 賢治

ねらい

- ① 作品の構成や展開、登場人物の心情を捉えよう。
- ② 表現の特徴に注意して読もう。

ウオーミングアップ



読解の道しるべ

物語の構成

牛飼い || 物語の語り手。

〈オツベルの仕事場〉

六台の稲こき機械が回り、十六人の百姓が働いている。

白象 ・ どういうわけか、オツベルの小屋にやってくる。

オツベル ・ 白象を自分のもの（財産）にして、もうけようとする。

オツベル ・ 白象をだまして、鎖や分銅をつける。

・ 税金が上がったと言って、白象に重労働をさせる。

↓ 「…水をくんでくれ。」

「…薪を運んでくれ。」

「…炭火を吹いてくれないか。」

白象 ・ 純粹に喜んで働く。オツベルの非道さに気がつかない。

↓ 「…稼ぐのは愉快だねえ、さっぱりするねえ。」

「…疲れたな、うれしいな、サンタマリア。」

【オツベルの白象への仕打ちがひどくなる。】

白象 ・ 笑わなくなり、厳しい労働で衰弱していく。

↓ 「…さよならです。サンタマリア。」

【仲間の手紙を書く。】

『僕はついぶんめに遭っている。…助けてくれ。』

【仲間が白象を助け出す。】

オツベル ・ くしゃくしゃに潰れてしまう。

白象 ・ 仲間感謝の言葉を寂しく笑って言う。

「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

小屋にやってきた

は、初めは純粹に喜んで

が、オツベルが与える

労働で、次第に衰弱していく。

仲間助け出されたとき、感謝の言葉を

笑って言う。

漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

① 機械を据えつける。

② 煙がもくもくと立つ。

③ 空が薄暗い。

④ 息を吹きかける。

⑤ 雑巾をしぼる。

⑥ 床の掃除。

⑦ ライオンが牙をむく。

⑧ 偉そうな態度をとる。

⑨ 部品をはめ込む。

⑩ 十把ひとからげにする。

⑪ 薪を集める。

⑫ 鍛冶場で働く。

⑬ 地面に座る。

⑭ 意気地がない。

2 線の片仮名を漢字で書きなさい。

- | | |
|------------------|-----------------|
| □ ⑬ 玄関でクツをぬぐ。 | □ ⑭ ブーツをハク。 |
| □ ⑪ 時間をカセグ。 | □ ⑫ 象をクサリでつなぐ。 |
| □ ⑨ イセイのよい声。 | □ ⑩ ナナめに進む。 |
| □ ⑦ オクの部屋に入る。 | □ ⑧ タイクツな時間。 |
| □ ⑤ ミナで話し合う。 | □ ⑥ 毎日イソガしい。 |
| □ ③ サバクを旅する。 | □ ④ ガンジョウな容器。 |
| □ ① イネを刈る。 | □ ② ヒヤクシヨウの暮らし。 |
| □ ⑳ 躍起になって取り組む。 | □ ㉑ 優しい性格の少年。 |
| □ ㉒ 少し痩せる。 | □ ㉓ 盛大な歓迎を受ける。 |
| □ ㉔ その度ごとに化する。 | □ ㉕ 優れた成績を修める。 |
| □ ㉖ 早速目的地へと出発する。 | □ ㉗ 嵐になる。 |
| □ ㉘ 花の盛りを過ぎる。 | □ ㉙ 食事の支度をする。 |

3 次の各問いに答えなさい。

- | | |
|--------------------------------------|---|
| □ ① 次の——線部の語句の意味を答えなさい。 | □ ① 飼い犬が他の犬の遠吠え <small>ほ</small> に呼応して鳴き出す。 |
| □ ② 躍起 <small>躍起</small> になって言い訳をする。 | □ ② 中身を詰めカえる。 |
| □ ③ サワギが起きる。 | □ ③ 巻きゾエを食う。 |
| □ ④ 山がフンカする。 | □ ④ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑤ ナンバイも水を飲む。 | □ ⑤ ユカイな気分になる。 |
| □ ⑥ 空をアオギ見る。 | □ ⑥ 友人とゴを打つ。 |
| □ ⑦ 空をアオギ見る。 | □ ⑦ 友人とゴを打つ。 |
| □ ⑧ 山がフンカする。 | □ ⑧ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑨ 山がフンカする。 | □ ⑨ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑩ 山がフンカする。 | □ ⑩ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑪ 山がフンカする。 | □ ⑪ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑫ 山がフンカする。 | □ ⑫ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑬ 山がフンカする。 | □ ⑬ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑭ 山がフンカする。 | □ ⑭ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑮ 山がフンカする。 | □ ⑮ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑯ 山がフンカする。 | □ ⑯ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑰ 山がフンカする。 | □ ⑰ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑱ 山がフンカする。 | □ ⑱ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑲ 山がフンカする。 | □ ⑲ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ⑳ 山がフンカする。 | □ ⑳ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ㉑ 山がフンカする。 | □ ㉑ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ㉒ 山がフンカする。 | □ ㉒ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ㉓ 山がフンカする。 | □ ㉓ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ㉔ 山がフンカする。 | □ ㉔ 新聞紙をひもでシバル。 |
| □ ㉕ 山がフンカする。 | □ ㉕ 新聞紙をひもでシバル。 |

(2) 次の語句の類義語として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|----------|---------|--------|
| □ ① にわかに | ア ゆるやかに | イ 一時的に |
| □ ② 降参 | ウ 急に | エ 段階的に |
| ア 降参 | イ 参拝 | |
| ウ 参観 | エ 下降 | |

- (1) — 線①「小屋」とはどういうところですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア 稲こきをするための工場。
- イ 百姓に食事を提供するための食堂。
- ウ 機械について学ぶ学校。
- エ 百姓たちの暮らす寮。
- (2) — 線②「のんのんのん」とありますが、どういう様子を表していますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア 稲こき機械が順調に回って、激しく振動している様子。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(みやざわけんじ)
宮沢賢治『オツベルと象』

35

30

25

- (7) — 線⑦「ずうつとこつちにいたらどうだい」と言ったときのオツベルの気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア 白象が喜んで突進してこないか期待している。
- イ 白象が怒って暴れださないか心配している。
- ウ 白象の苛立ちをなだめたいと苦心している。
- エ 白象の真意がわからず不安になっている。
- (8) — 線⑧「そういうことにしようじゃないか」とありますが、「そういうこと」とは何ですか。次の□に入る言葉を文中から抜き出しなさい。
- (9) — 線⑨「真っ赤になつて喜びながら」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。
- Ⅰ オツベルが喜んだのは、白象がオツベルの何になったからです。文中から二字で書き抜きなさい。
- Ⅱ オツベルが喜んだ理由を、語り手はどのように説明していますか。「〜から。」の形で、**四十字以内**で書きなさい。

□(8) 入る言葉の□に入る言葉を文中から抜き出しなさい。

□(9) Ⅰ オツベルが喜んだのは、白象がオツベルの何になったからです。文中から二字で書き抜きなさい。

□(9) Ⅱ オツベルが喜んだ理由を、語り手はどのように説明していますか。「〜から。」の形で、四十字以内で書きなさい。



練習問題 2

教科書 P.153 2.2 ~ P.155 2.4

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(2) — 線③「象は二足歩いてみて、さもうれしそうにそう言った」とありますが、ここから象のどんな性格が読み取れますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア エネルギーで、情熱的な性格。

イ 疑うことを知らない、善良な性格。

ウ 何事にも慎重で、用心深い性格。

エ 自分勝手に欲深い性格。

() ()

□(3) — 線④「すまないが……水をくんでくれ」、⑤「すまないが……運んでくれ」とありますが、オツベルのこうした言動からどのようなことがわかりますか。次の□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

□

□

が高いことを口実にして、

□

がもっと

□

□

よう

にと、オツベルがたくらんでいること。

(4) — 線⑥「オツベルは少しぎよっとして」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ オツベルはどんなことを心配してぎよっとしたのですか。簡潔に書きなさい。

□Ⅱ Ⅰの心配がないことは、象のどんな様子からわかりますか。象の様子がわかる表現を文中から十字で書き抜きなさい。

□

□

□

□

□

□

□

□

□

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(宮沢賢治 『オツベルと象』)

40 35 30 25

□(1) — 線①「赤い竜の目をして……見下ろすようになってきた」は、象のどんな様子を表していますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア あきれてしまって、声も出ない様子。
- イ 悲しみにうちひしがれているのを隠そうとしている様子。

すが、童子の届けた手紙を読んだ時の象たちの興奮ぶりがわかる一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。

Blank box for answer (6)

□(6) — 線⑥「象は一度に噴火した」のような表現技法を何といますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 倒置法
- イ 直喩
- ウ 隠喩
- エ 対句

()

□(7) — 線⑦「オツベルの家の百姓どもが……向こうを見た」とありますが、百姓たちはこの時何を見ましたか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア すごい速さで向かってくる象の群れ。
- イ オツベルの屋敷を囲んで動かない象の群れ。
- ウ 楽しそうに野原で遊んでいる象の群れ。
- エ すでに白象を助け出している象の群れ。

()

□(8) — 線⑧「血の気もうせて」とありますが、この表現から百姓たちの象に対するどんな気持ちわかりますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 歓迎
- イ 恐怖
- ウ 対抗
- エ 感激

()

□(9) オツベルの残忍な性格が最もよくわかる一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。

Blank box for answer (9)

定期テスト対策

教科書 P 146 ~ 164

実施時間のめやす ↓ 20分

得点

／ 100点

I 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

(1) 線①「もうなにもかもわかってた」について、次の I・II に答えなさい。

□ I オツベルには、何がわかっていたのですか。次の□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。 (10点)

□ を助けに、

□ がやって来たこと。

II オツベルと百姓たちは、I のことに対してどんな行動をとりましたか。

(宮沢賢治 『オツベルと象』)

40

35

30

25

